

染色体について



子ども達に「**勇氣**、**夢**として**笑顔**」を



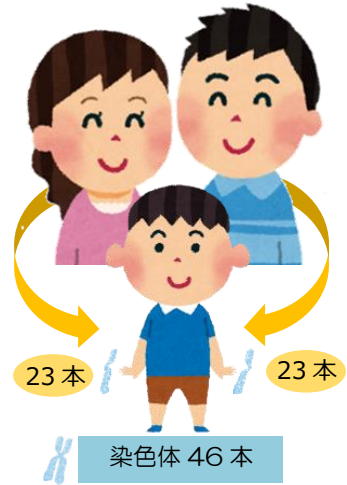
染色体って？

ヒトの始まりは卵子と精子が受精した受精卵です。

受精卵には 46 本の染色体が入っています。ママから 23 本、パパから 23 本もらうのが基本です。

46 本の染色体の中に 2 万個以上の遺伝子が入っていて、働くべき時に、働くべき場所で、働くべき時間だけ遺伝子が働くことで、

からだができたり、いろいろな機能を獲得できます。



染色体異常って？

染色体異常には 2 種類あります。本数が 45 本や 47 本などに变化する「**数の異常（数的異常）**」と、本数は 46 本のまま部分的に足りなかったり多すぎたりする「**形の異常（構造異常）**」です。過不足がなく、ある部分とある部分の位置が入れかわることもあります。

人口の 1%弱くらいの方には染色体異常があるといわれています。健康に影響するものもあれば、全く影響しないものもあります。



染色体が原因の病気って？

小児期の成長や発達の遅れの原因のひとつに染色体異常があります。

通常、染色体は2本で対をなしていますが、例えばこれが1本不足するとモノソミー、3本になった場合はトリソミー、4本になった場合はテトラソミーなどといいます。

染色体の部分的な不足や過剰の場合も、その部分に含まれる遺伝子の過不足ということになり、なんらかの症状がでることがあります。どの部分でどんな事が起こるかによって症状の種類や程度はさまざまです。

【当センターで診療している主な染色体疾患】

- ダウン症候群（トリソミー21）
- 22q11.2 欠失症候群
- ターナー症候群
- 4p-（4p マイナス）症候群
- トリソミー18

他にも、さまざまな染色体疾患の方を診療しています。

染色体異常自体を治療することはできませんが、成長発達の状況や合併症などにより適切な対応が必要になってきますので、定期的にしっかり診てもらうことが大切です。





地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

<遺伝診療科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605

2022.8 更新